

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 平成31年9月11日

事業所名 放課後等デイサービス ぶーやん泰山

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	評価や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善計画
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動内容に応じて体育館などを利用しスペース確保に努めている	
	2 職員の配置数は適切である	○		管理者、マネージャーで確認をおこなっている	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関やトイレなどバリアフリーではない。活動スペースはバリアフリーである。現状はないが、必要時はスロープを検討する。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	○		ヒヤリハット報告書を作成し業務改善に努めている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			昨年度までは集計と保護者の意向を取り入れていたが今年度より公開している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価を検討しているが様々な問題があり実施できていない。今は事業所を指導指導するマネージャーで業務改善に努めている
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に外部講師に依頼し、継続的な研修や外部実習、その他実務研修で研修の機会を設けている	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児童館以外の職員の意見も盛り込むように努めている	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14 適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日職員全員でミーティングを行い支援内容の役割分担の確認や情報共有する時間を確保している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		保護者の意向なども共有しながら、ミーティングを行って情報共有する時間を確保している	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人記録の記入を行い次の支援に繋げている	
	18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断している	○			
	19 ガイドラインの趣旨の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校からの連絡、報告等はスタッフ全員で共有している。送迎時などトラブルが発生した時にはすぐに連絡をいれようが体制を行っている	
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		相談支援員さんを通して情報を共有させて頂いている。今後必要に応じて主治医とも連携を取れるようにしていきたい
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を深めている	○			利用開始前に担当委員会などで、就学前事業所との情報共有を行っている
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			福祉サービス事業所にはデイズの支援内容の情報共有を行い各関係機関と連携を図っている。また、学校も含めた担当者会議の場で情報の提供を行っている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在は公共施設などで偶然一緒になる事はありますが意図的に交流する場面はなかなか作りにくい。今後の検討課題である。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		事業所毎の参加は人数制限があり限いが代表者が参加し、内容報告をして情報共有を行っている	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に日々の支援の内容や状況をお伝えしている。必要に応じて電話や面談も行っている	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	○		現在職員が研修を受けている。今後研修者向け研修やスタッフが支援、援助を行う予定	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者さんが話をしやすい環境を作るよう努力して支援している	
保護者への説明責任等	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			以前は保護者会を行っていたが現在は全体運動会やお祭り等企画して支援をおこなっている。今後開催できるような計画をする予定
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35 個人情報に十分注意している	○			保護者さんには伝わってなかったで周知に努め安心して利用して頂けるよう努める
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		○		
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			保護者への共有が出来ていなかったで今後ホームページやお便りなどへの記載を行っている
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	非常時等の対応	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている		○			指定受け入れはないが、今後必要に応じて保護者面談、医師の指示書の確認、エビペンの研修などをする予定
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○			管理者、マネージャーも定期的に確認して共有出来るように努めている